

生徒指導と特別活動・修学旅行

はじめに

現在、学校教育全般についての見直しが行われているが、修学旅行においても、その例外ではない。このように観点から、しばしば各都道府県や学校における修学旅行改善の歩みや実態をまとめてみたい。

①学校生活をより豊かな充実したものにする教育活動であること
②多彩な内容を含んだ総合的、創造的な教育活動であること
③より大きな集団による活動

「今こそ修学旅行の見直し・改善を」

であること

修学旅行の教育課程における位置づけは次のとおりである。
①学習指導要領
特別活動の「内容」の「B」旅行の「(4)旅行の行事」に、「平素と異なる生活環境にあり、見聞を広め、集団生活のさまざまな体験を通じて、公衆道徳などについての望ましい体験を積むような活動を行うこと。」と示されている。

次に、学校行事の具体的な内容の「(4)旅行の行事」で旅行の行事には、遠足、修学旅行、集団宿泊指導などが考えられる。と述べられ旅行の行事の「ねらい」として、三点があげられている。

- 十歳
①三泊 三二%
(九〇%以上実施の県が十一県)
②四泊 六%
③五泊 一%
ウ、目的地選定に当たっての重点
○中学校
①社会見学(名所、旧蹟、文化施設等) 九三%
②自然体験(動物体験を含む) 二%

思い出し、社会見学・工場見学、自然に親しむ体験を積むことが掲げられている。
三、改善・充実に向けての今後の努力
とくに批判の対象となりやすい「観光旅行」からの脱却をめざして、従来から様々な改善への努力が積み重ねられている。

③集団宿泊指導(訓練)二%
ア、実施率 昭和五十九年度
○中学校 九六・五%
(内訳)
・第一学年で実施 〇・四%
・第二学年 一八・八%
・第三学年 八〇・八%
(九〇%以上実施が三十五県)
イ、宿泊日数
○中学校
①二泊 六一%
(九〇%以上実施の県が二

の努力が積み重ねられているが、その内容を概観すれば、おおよそ次のようにまとめることができる。
ア、系統的・計画的な旅行の行事の積み重ねの上に実施する修学旅行
(例)第一学年で遠足や宿泊オリエンテーションの実施、第二学年で移動教室・自然教室、などの校外集団宿泊指導、第三学年で修学旅行
イ、主体的な学習活動を重視した事例指導の徹底
(例)旅行のしおりをはじめ、必要な諸資料を可能な限り生徒の手作りとする。
○事前学習の一環としての「紙上学習」の実施
ウ、総合的な学習活動のとり入れ

三月十三日(水)十六時から横浜駅西口に隣接した東急ホテルにおいて、北海道観光連盟主催、(財)全国修学旅行研究協会後援の北海道修学旅行誘致懇談会が開催され、神奈川県下の公立高校の先生方が参加し、北海道修学旅行への意欲を高めたいと、北海道観光の主なポイントを紹介したテレビが上映され、北海道観光連盟専務理事辻野氏から修学旅行は北海道地区へと強い呼びかけがあり、次いで、北海道観光の現状と課題について、北海道修学旅行についての認識を深めた。

本州からの修学旅行にとつて、海底トンネルの完成が何よりも望まれるが、これに備えて、受け入れ側の人的、物的の両面にわたる万全の整備を期待したいものである。

韓国への高校生の修学旅行の実験の様子がビデオで上映され、次いで講師から、両国への修学旅行のメリットについての指摘があり、特に台湾については、正式に国交がない、男性のみが行く所との偏見の二点を懸念され、質疑応答は、女子校の宿泊、事前指導の重要性、相手国との風俗習慣の相異点等が話題となったが、講師から、生徒のひとりひとりが日本の外交官であるとの信念で行動することが第一で、これにより、海外修学旅行は生徒自身の向上と、国際理解に資する所であると結ばれた。

財全修協創立30周年式典

来賓・表彰受賞者氏名 (敬称略)

来賓(順不同)
佐々木輝雄(文部省主任視学官、高橋哲夫同教科調査官、原田憲(衆議院議員)、小川一治(同)、吉田之久(同)、柳川寛治(参議院議員)、五味彦国(参議院議員)、渡辺淑夫(全日中会計部長、佐々木達三(地区修学連会長)、滝嶋三三(地区修学連会長)、市川年夫(三重県教育次長、橋口和子(日教組副委員長、藤田毅(日教組専務理事、伊藤嘉蔵(日教組専務、齋藤昭三(全学品専務)、石上哲也(学協支所長)、安藤武徳(近

鉄務局長、明石孝(近畿日本ツーリスト社長)、玉中秀明(取組役、田平英二(同国内旅行部長)、駒野哲夫(同修学旅行部長)、阿部春樹(同国内旅行部長)、池田善也(関西汽船取締役、営業部長、相賀夫(小学館社長、松岡延行(教材研究所社長、鈴木力(元衆議院議員)
祝電(順不同)
(衆議院議員)湯川宏(大原亨、池端清一
(参議院議員)本岡昭次
(知事)北海道橋路孝弘、大阪府岸昌、兵庫県坂井時忠、福岡県奥田八二
(教育長)山形県高橋和雄、栃木県池嶋和夫、千葉県山本孝也、東京都水之上、神奈川県齋藤莊之助、新潟県有磯邦男、

愛知県奥田信之、滋賀県南雄、京都府仲敷、大阪府黒田幸雄、兵庫県野野原、山口県高山治、福岡県野野原、大坂市近藤博之
(友誼団体等)筑波大学加藤隆勝、東海三県修学連本島勝彦、北海道社会科教育連田恭彦、北海道観光連盟中原哲男、福島県教育佐藤昌志、都中高協会新井博之、三重県公立職員互助会横田猛雄、三重県退教互山本正和、京都府団体旅館協会斎藤繁紀、自民党大阪府議員松本登
(近畿日本ツーリスト)中部営業本部長近藤鈴夫、中国四国営業本部長井村勲、大宮ユース所長山田彰、名古屋ユース所長吉松猛
(支部長)宮城県高橋智博、山形県吉村和夫、栃木県梅沢

表彰受賞者
○永年功績
・支部長、支所顧問
高田治郎(北海道、盛田三喜雄(青森、顧問)永井照次郎、岡田憲一郎(埼玉、青山長道東、木村愛一(静岡、村山助雄(福岡、田崎辰夫(長崎、田尻一雄(分、田尻真(宮崎)
○研修旅行(関係団体)
兵庫県学校厚生会、大阪府教育、福島県教育、山口県教育、互、福島県教育、山口県教育、富山県教育、岩手県教育、静岡県教育
○特別功労者
本政信(近畿日本ツーリス、新井博之(都中高協会)、伊藤嘉蔵(日教組)、鈴木春之助(都教互)、北海道社会科教育連盟、尾瀬の自然を守る会

調査項目としては、主管課、日数、費用、実施学年等項目からなり、(財)全国修学旅行研究協会の支部を通じて、それぞれの支部所在地の教育長に回答を依頼している。
今年度の回答は、初日は四月三十日(水)となり、回答が集まり次第集計分析を行って小冊子にまとめ、広く関係方面に提供する予定である。
今年度は昨年の日航機事故の影響で、修学旅行の飛行機利用に際して、各教育委員会がどのような反応を示すが、大いに注目されることである。

期待久しい海底トンネル完成
道連修誘致懇談会
三月十三日(水)十六時から横浜駅西口に隣接した東急ホテルにおいて、北海道観光連盟主催、(財)全国修学旅行研究協会後援の北海道修学旅行誘致懇談会が開催され、神奈川県下の公立高校の先生方が参加し、北海道修学旅行への意欲を高めたいと、北海道観光の主なポイントを紹介したテレビが上映され、北海道観光連盟専務理事辻野氏から修学旅行は北海道地区へと強い呼びかけがあり、次いで、北海道観光の現状と課題について、北海道修学旅行についての認識を深めた。

海外修学旅行に
JAA修学セミナー
去る三月十日(月)十五時から、日本アジア航空株式会社主催の海外修学旅行セミナー(主催)として台湾修学旅行が中心となり、東京有楽町の電気ビルで開催され、東京私立中学高等学校協会修学旅行研究調査部委員長新井博之氏を講師とし、都内私立高校の先生方が、台湾、韓国への修学旅行についての予備知識に多くの得るところがあった。

韓国への高校生の修学旅行の実験の様子がビデオで上映され、次いで講師から、両国への修学旅行のメリットについての指摘があり、特に台湾については、正式に国交がない、男性のみが行く所との偏見の二点を懸念され、質疑応答は、女子校の宿泊、事前指導の重要性、相手国との風俗習慣の相異点等が話題となったが、講師から、生徒のひとりひとりが日本の外交官であるとの信念で行動することが第一で、これにより、海外修学旅行は生徒自身の向上と、国際理解に資する所であると結ばれた。

育てる心はみんな同じ。
●営業受付時間
9:00~17:00 (3月16日~11月15日)
9:30~16:00 (11月16日~3月15日)
●修学旅行料金 高校生 1,000円
中学生 700円、小学生 600円
ガイドラジオ
バス1台につき1,000円
別府あじむ草原
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎(09784) 8-2 3 3 1代

KANSUI KISEN
大阪・神戸 直行便 別府
12,000トン
さんふらわあ
修学旅行に
大阪南港 19.00発 神戸中突堤 20.30発 別府 8.00着
貸切専用外航純客船
さんふらわあ7も
ご利用ください。
営業部 営業課 大阪市北区梅田1-1 ☎(06)344-7031
東京支社 東京都中央区八重洲1-4-14 ☎(03)274-4273
及 び 各 支 店、 営 業 所、 旅 行 代 理 店 へ
関西汽船

首都東京を見て、何かを！
学校単位の貸切りで
ご利用下さい
30年の経験を生かす 50旅館 8000名収容
本郷の旅館へ
本郷旅館協同組合
〒113 東京都文京区本郷4-36-3 TEL 03-813-9381

楽しい修学旅行を、
より安心
出来るものに
「国内旅行傷害保険」
修学旅行用をおすすめします。
東京海上火災保険株式会社
本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-212-6211(代表)